

物理学委員会 物理教育研究分科会（第24期・第2回）

議事要旨

日時 平成30年11月26日（月）10時00分～12時00分

会場 日本学術会議 5-B 会議室

出席者： 岡委員、駒宮委員、笹尾委員（委員長）、千葉委員、芝井委員（スカイプ）、新永委員（スカイプ）、覧具委員、村田委員、笠委員（幹事）、新田英雄参考人

欠席者： なし

資料： 第1回会合議事要旨（資料1）－メール審議により承認済
物理学委員会への報告（資料2）
覧具委員より（資料3）
新田参考人より（資料4）

笹尾委員長より物理教育研究の専門家のお話を聞くという前回の確認に基づき、新田英雄東京学芸大学 教授を参考人として招聘したとの報告があった。

議事

（1） 前回の議論の確認と報告

前回会合（議事要旨はメール審議により確認済み（資料1）以降、物理学委員会等での本分科会に関連した事項の概要報告があった。

（2） 物理教育研究の概要と最近の研究から

物理教育研究の背景、基本的思想、成果、物理教育研究を踏まえた授業方法、最近の研究の話題などについて、東京学芸大学の新田英雄教授より報告を受けた。また、覧具委員より、資料3「物理教育研究分科会からの「提言を構想する上での参考情報」について説明があった。これらをふまえ、質疑ならびに意見交換が行われた。

（3） 今期取り組むべき課題について

提言に盛り込むべき内容と関連してシンポジウムでの主要な話題について意見交換が行われた。

（4） 本委員会からの発信と今後のスケジュール

2020年9月末の本委員会設置終了までに提言（又は報告）を発すること、シンポジウムの時期としては2019夏が好ましいこと等を鑑みて、今後のスケジュールについて議論を行った。委員会旅費支出が一時的に困難になっている現状から、今後はメールでの意見交換とメール審議による委員会を開催し、委員出席による委員会は可能な限り2019年4月以降とする。

以上